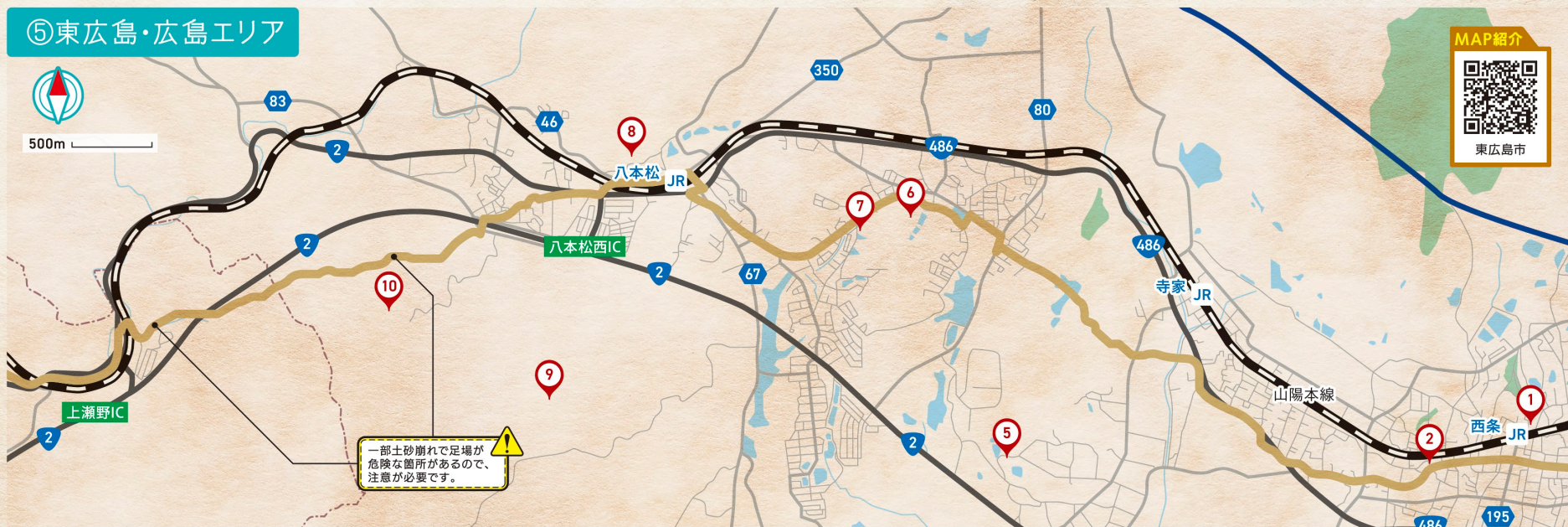


⑤東広島・広島エリア



500m



MAP紹介

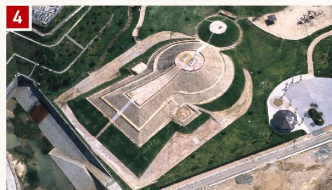


東広島市



新宮神社

本殿は寛延3年(1750年)に再建されたもので、東広島市内で特に大規模なものです。建築意匠に優れ、東広島市の重要文化財に指定されています。



史跡 三ツ城古墳

撮影：井手 三千男

3基の古墳からなる古墳群で、第1号古墳は広島県内最大級の前方後円墳です。5世紀前半頃の築造と推定され、当時の安芸地方の大豪族の墓と考えられています。



賀茂郡御役所跡

江戸時代、広島藩の代官所が置かれ、代官不在時は御役所と呼ばれました。



教善寺

浄土真宗のお寺で本堂は明治12年(1879年)に再建されたものです。随所に豪華な彫刻や彩色が見られ、明治時代の豪華絢爛な真宗本堂の好例です。



三ツ城古墳
ガイダンスコーナー



大山峠

古来より山陽道(西国街道)の難所として知られます。付近には戦国時代の刀匠・大山刀鍛冶の屋敷跡やお墓が残されています。



東広島市史跡 曾場が城跡

鏡山城の廃城後、大内氏の安芸国支配の拠点となった杣城の遺構です。山陽道(西国街道)を押さえる上で好位置にありました。



疱瘡神社・馬頭観音

子供の病に霊験があり、天然痘が流行した時、祈ると早く治ったことから疱瘡神社という名になりました。菖蒲前の愛馬を祀った馬頭観音もあります。



八本松八十八石仏

北海道開拓で富を得て帰郷し、八本松駅近くに住居を構えていた堀岡熊次郎が中心となって建てた88体の舟形光背をもつ石仏です。



清水川神社

文明18年(1486年)創建。参勤交代時の落馬を防ぐため、神殿を北向きから西向きに向けなおしたところ、以後そのようなことは起こらなかったと伝わっています。